

## 第6回「ナンバープレートのあり方に関する懇談会」議事概要

1. 日 時 平成24年7月19日(木) 14:00~15:15

2. 場 所 国土交通省(中央合同庁舎第3号館) 4階 幹部会議室

3. 委員からの主な発言

- 最終とりまとめにおいて、ご当地ナンバーと希望ナンバー制についての短期的な対応の方向性が示されていることは妥当。実施時期を具体的に示すことも大事であり、その点も明記されている点は非常に良い。また、中長期的な課題であるナンバープレートの形状の見直しについて、賛否両論あるが、社会の関心が非常に高く、これからクルマ社会が変わってきて、車両の形状も変わるかもしれない中、視認性、記憶性等からの制約に留意しつつ、関係機関とも連携して考えていくことが必要。さらに、ナンバープレートの形状について、今後は、技術面だけではなく、デザインの面からも議論を進めていくべき。
- 形状の見直しについては、柔軟にユーザーの希望に沿う形で考えることが適当。現行制度とどのように調和していくかということも重要であるが、システム改修の時期等にタイミングや技術革新に合わせた見直しを想定して積極的な方向で検討していくべき。また、OSSの普及が都道府県側の事情でなかなか進まないという点もあるので、OSSを導入していること等がご当地ナンバー導入の要件とされることにより、ご当地ナンバーの拡充を通じてOSSの推進が図られることは良いこと。
- ご当地ナンバーの拡充やOSSの更なる推進を図る上で、ユーザーの負担軽減のためのナンバープレート手続きの簡素化を進めていくべきであり、その旨、最終とりまとめに明記すべき。
- ご当地ナンバーは、地域振興や観光振興のために有用であり、短期的に対応していくこととしているのは現実的。希望ナンバー制についても、現実的な対応の方向性が示されているものと理解。
- 今回の最終とりまとめは、ご当地ナンバーや希望ナンバー制といった副次的な機能に主眼が置かれているが、本来的な機能を見据えた議論も今後必要。ナンバープレートのカバーやフレーム枠の規制は、一定の視認性を確保するというナンバープレートの本来的な機能に関わるものなので、重要性はかなり高く、迅速に対応すべき。また、ナンバープレートの形状を見直す場合に、例えば、国土交通省で推進している超小型モビリティに新しい形状のナンバープレートを取り付け、世の中の反応を見るといったように、実証実験を行うことも考えられるのではないかと。

- ご当地ナンバーについて、申請のあった各地域からプレゼンテーションをさせ、適宜フォローアップを行っていくことは重要。既にご当地ナンバーが導入されている地域も含め、地域振興や観光振興のためのナンバープレートの活用例について情報共有できるベストプラクティス集のようなものを作ってみてはどうか。
- これから新しいタイプの自動車が出てきた場合に、それに対応したナンバープレートを考えていくことも今後の検討課題とすべき。
- ご当地ナンバーについて、各地域でコンセンサスを得るには、自治体の相当の努力が必要となるのではないかと。実行の段階での地域住民への丁寧な説明もお願いしたい。
- ナンバープレートの形状の見直しを進めていく上での留意事項として、「国際的な調和」を明記すべき。